



# 令和2年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年2月3日

上場会社名 日鉄鉱業株式会社  
 コード番号 1515 URL <http://www.nittetsukou.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小山 博司  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部決算課長 (氏名) 北嶋 新平  
 四半期報告書提出予定日 令和2年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03- 3216- 5255

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	89,341	4.8	6,233	11.2	6,934	1.3	4,144	16.6
31年3月期第3四半期	93,842	5.8	7,018	4.4	7,024	10.8	4,967	0.9

(注) 包括利益 2年3月期第3四半期 4,098百万円 (130.6%) 31年3月期第3四半期 1,777百万円 (76.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	498.20	
31年3月期第3四半期	597.05	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	177,122	110,367	59.6
31年3月期	171,717	107,186	59.8

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 105,554百万円 31年3月期 102,656百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		45.00		65.00	110.00
2年3月期		45.00			
2年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	3.5	8,000	7.0	8,400	14.2	5,000	6.7	600.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 有 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	8,352,319 株	31年3月期	8,352,319 株
期末自己株式数	2年3月期3Q	32,684 株	31年3月期	32,116 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	8,319,971 株	31年3月期3Q	8,320,540 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(添付資料)

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(会計上の見積りの変更) .....	P. 8
(セグメント情報) .....	P. 9
3. 補足情報 .....	P. 10
連結売上高明細表 .....	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、民間設備投資や公共投資は堅調でありましたものの、世界経済の減速に伴う輸出の弱含みや自然災害による影響等により、景気は全体的に力強さに欠ける状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当社グループにおきましては、販売の強化、促進に努めましたものの、資源事業における減収により、売上高は893億4千1百万円（前年同期比4.8%減）と前年同期なみでありました。

損益につきましては、鉱石部門の減益により、営業利益は62億3千3百万円（前年同期比11.2%減）と前年同期に比べ減少しましたものの、経常利益は持分法による投資損益が改善しましたことから、69億3千4百万円（前年同期比1.3%減）と前年同期なみにとどまりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益が減少したことに加え、海外連結子会社で判明した不適切な会計処理に係る調査費用の特別損失計上等により、41億4千4百万円（前年同期比16.6%減）と前年同期に比べ減少いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## [資源事業]

## (鉱石部門)

鉱石部門につきましては、主力生産品である石灰石の販売数量の減少に加え、石油製品の減収等により、売上高は415億1千9百万円と前年同期に比べ21億3千3百万円（4.9%）減少し、営業利益は55億9千3百万円と前年同期に比べ5億6千2百万円（9.1%）減少いたしました。

## (金属部門)

金属部門につきましては、電気銅の販売価格の下落等により、売上高は354億6千1百万円と前年同期に比べ25億2千2百万円（6.6%）減少しましたものの、アタカマ銅鉱山の増益により、営業利益は3億4千6百万円と前年同期に比べ1億6千9百万円（95.8%）増加いたしました。

## [機械・環境事業]

機械・環境事業につきましては、機械部門における販売は振わなかったものの、環境部門の主力商品である水処理剤の販売が好調に推移するとともに値上げの浸透もあり、売上高は87億7千9百万円と前年同期に比べ1億1千9百万円（1.4%）増加し、営業利益は8億6千7百万円と前年同期に比べ1億6百万円（14.0%）増加いたしました。

## [不動産事業]

不動産事業につきましては、賃貸物件の稼働状況が概ね順調に推移しましたことから、売上高は21億8百万円と前年同期に比べ5千8百万円（2.9%）増加し、営業利益は修繕費の減少により、11億7千3百万円と前年同期に比べ8千3百万円（7.7%）増加いたしました。

## [再生可能エネルギー事業]

再生可能エネルギー事業につきましては、地熱部門及び太陽光発電部門ともに減収となりましたことから、売上高は14億7千3百万円と前年同期に比べ2千2百万円（1.5%）減少しましたものの、減価償却費の減少等により、営業利益は4億2千万円と前年同期に比べ7千6百万円（22.2%）増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の部の合計は、前連結会計年度末に比べ54億4百万円(3.1%)増加し、1,771億2千2百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金並びに売掛金が減少しましたものの、原材料及び仕掛品の増加等により、前連結会計年度末に比べ31億3千5百万円(4.0%)増加し、817億9千万円となりました。

固定資産につきましては、保有株式の時価下落により投資有価証券が減少しましたものの、設備投資による有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ22億6千9百万円(2.4%)増加し、953億3千1百万円となりました。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の部の合計は、前連結会計年度末に比べ22億2千3百万円(3.4%)増加し、667億5千4百万円となりました。

流動負債につきましては、未払法人税等が減少しましたものの、買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ32億7千6百万円(8.3%)増加し、427億9千8百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ10億5千2百万円(4.2%)減少し、239億5千6百万円となりました。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部の合計は、その他有価証券評価差額金が減少しましたものの、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ31億8千万円(3.0%)増加し、1,103億6千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の連結業績見込みにつきましては、令和元年11月6日に公表した業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,139	32,831
受取手形及び売掛金	28,490	27,471
商品及び製品	4,726	4,592
仕掛品	2,846	4,097
原材料及び貯蔵品	2,059	5,011
その他	6,873	8,258
貸倒引当金	△480	△473
流動資産合計	78,655	81,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,856	22,244
一般用地	16,627	16,627
その他(純額)	18,886	22,011
有形固定資産合計	58,369	60,883
無形固定資産		
その他	3,588	3,480
無形固定資産合計	3,588	3,480
投資その他の資産		
投資有価証券	26,074	25,523
その他	5,423	5,629
貸倒引当金	△377	△156
投資損失引当金	△15	△29
投資その他の資産合計	31,104	30,967
固定資産合計	93,062	95,331
資産合計	171,717	177,122
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,946	14,210
短期借入金	15,355	16,531
未払法人税等	2,043	403
引当金	1,064	357
その他	12,112	11,295
流動負債合計	39,521	42,798
固定負債		
長期借入金	5,012	4,428
引当金	311	368
退職給付に係る負債	4,616	4,676
資産除去債務	4,423	4,447
その他	10,645	10,034
固定負債合計	25,009	23,956
負債合計	64,531	66,754

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,958	4,941
利益剰余金	85,091	88,321
自己株式	△160	△163
株主資本合計	94,065	97,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,028	9,373
繰延ヘッジ損益	△39	△18
為替換算調整勘定	502	324
退職給付に係る調整累計額	△1,900	△1,400
その他の包括利益累計額合計	8,590	8,279
非支配株主持分	4,530	4,812
純資産合計	107,186	110,367
負債純資産合計	171,717	177,122

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	93,842	89,341
売上原価	71,613	67,773
売上総利益	22,228	21,568
販売費及び一般管理費	15,210	15,335
営業利益	7,018	6,233
営業外収益		
受取利息	92	60
受取配当金	893	779
持分法による投資利益	—	407
その他	129	116
営業外収益合計	1,116	1,363
営業外費用		
支払利息	245	186
持分法による投資損失	210	—
為替差損	40	52
休廃山管理費	346	229
その他	267	194
営業外費用合計	1,110	663
経常利益	7,024	6,934
特別利益		
固定資産売却益	44	42
投資有価証券売却益	552	61
受取保険金	—	50
その他	5	9
特別利益合計	603	162
特別損失		
固定資産除売却損	169	147
減損損失	8	0
特別調査費用	—	308
その他	0	10
特別損失合計	178	466
税金等調整前四半期純利益	7,449	6,629
法人税、住民税及び事業税	2,329	2,243
法人税等調整額	2	△74
法人税等合計	2,331	2,168
四半期純利益	5,118	4,460
非支配株主に帰属する四半期純利益	150	315
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,967	4,144

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
四半期純利益	5,118	4,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,462	△653
繰延ヘッジ損益	△108	21
為替換算調整勘定	46	△229
退職給付に係る調整額	184	499
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△3,340	△362
四半期包括利益	1,777	4,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,619	3,833
非支配株主に係る四半期包括利益	157	265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

連結子会社であるアタカマ・コーザン鉱山特約会社が保有する有形固定資産及び無形固定資産は、採掘可能年数に基づいて減価償却を行っておりますが、所有鉱区の鉱量を測定した結果、可採鉱量が増加したことから、主要な設備の耐用年数を延長し、第1四半期連結会計期間より将来にわたり変更しております。また、チリ国の鉱業令が規定する鉱山の閉山計画に基づく閉山費用として計上していた資産除去債務の支出までの見込期間についても延長し、第1四半期連結会計期間より将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費等が72百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額増加しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鉱石	金属	機械・環境	不動産	再生可能 エネルギー	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	43,652	37,984	8,659	2,049	1,495	93,842	—	93,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	287	0	669	6	—	963	△963	—
計	43,940	37,984	9,329	2,055	1,495	94,805	△963	93,842
セグメント利益	6,156	177	761	1,089	344	8,528	△1,510	7,018

(注)1 セグメント利益の調整額△1,510百万円には、内部取引の相殺消去額38百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円、未実現損益の消去額39百万円、報告セグメントに配分していない全社費用△1,588百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、試験研究費及び探鉱費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鉱石	金属	機械・環境	不動産	再生可能 エネルギー	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	41,519	35,461	8,779	2,108	1,473	89,341	—	89,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	727	—	644	6	—	1,377	△1,377	—
計	42,246	35,461	9,423	2,114	1,473	90,719	△1,377	89,341
セグメント利益	5,593	346	867	1,173	420	8,402	△2,168	6,233

(注)1 セグメント利益の調整額△2,168百万円には、内部取引の相殺消去額58百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円、未実現損益の消去額89百万円、報告セグメントに配分していない全社費用△2,316百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、試験研究費及び探鉱費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更に記載のとおり、連結子会社であるアタカマ・コーザン鉱山特約会社は、採掘可能年数が延長しましたことから、有形固定資産及び無形固定資産の耐用年数並びに資産除去債務の支出までの見込期間について、第1四半期連結会計期間より将来にわたり変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「金属部門」のセグメント利益が72百万円増加しております。

## 3. 補足情報

## 連結売上高明細表

(金額単位:百万円)

セグメント	主要品目	数量 単位	前第3四半期連結累計期間			当第3四半期連結累計期間			増減(△)	
			数量	売上高	比率(%)	数量	売上高	比率(%)	数量	売上高
資源事業										
鉱石部門	石灰石	千t	19,652	21,583	23.0	18,629	20,922	23.4	△ 1,022	△ 660
	砕石	千t	3,953	4,769	5.1	3,925	4,773	5.3	△ 27	3
	タンカル	千t	503	2,884	3.1	462	2,688	3.0	△ 40	△ 195
	燃料その他			14,415	15.3		13,134	14.8		△ 1,281
	小計			43,652	46.5		41,519	46.5		△ 2,133
金属部門	電気銅	t	37,707	27,068	28.8	37,180	24,312	27.2	△ 526	△ 2,756
	銅精鉱	t	39,423	7,623	8.1	43,509	7,995	8.9	4,085	372
	その他			3,292	3.6		3,153	3.6		△ 138
	小計			37,984	40.5		35,461	39.7		△ 2,522
計			81,637	87.0		76,980	86.2		△ 4,656	
機械・環境事業	産業機械			3,827	4.1		3,646	4.1		△ 180
	環境商品			4,832	5.1		5,132	5.7		300
	計			8,659	9.2		8,779	9.8		119
不動産事業			2,049	2.2		2,108	2.4		58	
再生可能エネルギー事業	千MWh	145	1,495	1.6	140	1,473	1.6	△ 4	△ 22	
合計			93,842	100.0		89,341	100.0		△ 4,500	

## 海外売上高

(単位:百万円)

品目	主な向先	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
石灰石等	台湾、香港、オーストラリア	3,167	3,463
電気銅	インド、台湾、タイ	3,826	6,057
銅精鉱	チリ	4,989	6,510
産業機械	中国、ロシア、韓国	532	376
環境商品	台湾	3	3
合計		12,519	16,411

(参考情報)

## 海外金属・為替市況推移

	単位	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	当連結会計年度(予想)
銅価格	¢ / lb	289.42	269.13	265.00
為替レート	円 / 米ドル	111.14	108.67	108.00